

# スニユ日本

版 コ ス ネ シ

道新 16143

有各洋家の休日 - 札幌 - 64枚  
雨の巡礼 3サ - 松前 - 86枚 (本編トップへ追加)

高新 16228  
新貨 1656  
新 1667

本編同 No. 393 36. 7. 28

涼を眺めて - 石島 - 79枚 (本編トップへ追加)

## 一、実力者内閣へ挑む

— 日教組と医師会

実力者内閣を看板に船出した第三次池田内閣は組閣早々、二つの課題に直面しました。文部省により効果的な圧力をかける為、組織強化を目指した日教組は、第二十三回大会を宮崎県から東京に舞台を移して再開。

だが、政党支持問題をめぐって、予想された如く、混乱をまきおこしました。一応、主流派の社会党支持の線に統一したものの、組織不統一のまま、高姿勢の文部省と対決態勢をとることになりました。

又、以前から医療費値上げ問題に不満を抱いていた医師会は、ワンマン武見会長の強引なリーダーシップにひきづられ、八月一日から、保険医総辞退を厚生省に声明しました。

いわば、国民健康保険の精神を無視した医師会の横車にも、医師会は自民党にとって有力な選挙地盤とあれば、党幹部もそっぽを向くことは出来ず、妥協工作に低姿勢の有様です。

日教組にはこの上なく強気でも、選挙の票につながる医師会には弱気の強力内閣。これからのお手並みがまたれます。

## 一、東久邇成子さん逝く

七月二十六日、東久邇成子さんの告別式が青山斎場でしめやかに行なわれました。悲しみの皇室御一族は両陛下はじめ、最後のお別れにお出でになりました。一般の焼香もひきもきらず、故人の生前のお人柄をしのばせました。

## 日本の群像

### 一、羽黒の山伏

— 山 形

千三百年の昔蜂子皇子が開山したと伝えられる出羽三山は、羽黒山伏の修験道場として知られてきました。

その昔七千人を誇った羽黒の山伏も、今では六十人足らずですが、峰中と呼ばれる夏の行など、昔ながらの行の伝統を守っています。

一汁一碗、南ばんいぶしの煙に耐えながら苦難の行はおどろくばかりの激しさです。かつては、行場に籠ること千日から一万日、生きながらにしてミイラになった人すらあるのです。

この山伏たちは現在宿坊を営み昔ながらの檀那場と呼ばれる信者組織を継承して大きいものでは一万人の信者をもっています。

しかし近頃では、それも観光的な傾向が強いわれ、行に始まり行に栄えた羽黒の山伏も、きびしい時代の風の中にさらされていくようです。

620 PR

4210R

844R

1610R